

# 亜高山性針葉樹の天然林

金峰山 きんぼうさん

生物群集保護林

## 設定目的

奥秩父山塊の主脈に位置し、**金峰山(三、五九五<sup>メートル</sup>)**、**朝日岳(二、五八〇<sup>メートル</sup>)**、**国師岳(二、五九二<sup>メートル</sup>)**等が連なる尾根筋はハイマツ、シヤクナゲ、ツガザクラ、コケモモ、トウヤクリンドウ、ガンコウラシシ等から構成される高山植物群落となっています。その下部にはカラマツ、オオシラビソ、シラビソ、コメツガ等の亜高山性針葉樹の森が広がっており、これらの植物群落を一体的に保護しています。

## 地況・林況

金峰山は長野県側では「**きんぼうさん**」、山梨県側では「**きんぶさん**」と呼ばれ、平安時代初期頃より山岳信仰の対象とされてきた山です。

日本百名山のひとつで、登山道沿いのアズマシヤクナゲや山頂付近の薄い黄色の花を咲かせるキバナシヤクナゲが登山者を楽しませています。

日本海側河川の千曲川支流と太平洋側河川の富士川支流を分ける中央分水嶺であり、南アルプス・富士山が南限で日本海側の多雪山岳地に比較的优势なオオシラビソと、太平洋側の雪の少ない山岳地に優勢なシラビソが混生しています。

所在地  
長野県川上村



※自然保護のため、詳細な位置情報は掲載しておりません。

国有林野には、世界自然遺産を始めとする原生的な森林生態系を有する森林や、希少な野生生物の生育・生息の場となっている森林が多く残されています。

国有林野事業では、1915年(大正4年)以降、こうした貴重な森林を「保護林」として設定し、森林や野生生物等の状況変化に関する定期的なモニタリング調査を実施して、森林の厳格な保護・管理を行っています。

お問い合わせ先：計画保全部計画課 ダイヤルイン：026-236-2612



※詳細は、QRコードを読み込んでください。